

# Winter Guarana

ウィンター ガラナ

JUSTICE & PEACE SPIRITS

## 山本夜羽

JOHANNE YAMAMOTO PRESENTS



CO-UP  
Guarana  
FRESH DRINK  
コアップ・ガラナ

# Winter JUSTICE & PEACE SPIRITS Guarana

ウ イ ン タ ー ガ ラ ナ

## 山本夜羽

JOHANNE YAMAMOTO PRESENTS

# Winter Guarana<sup>ウィンターガラナ</sup>

第1話	<sup>しば</sup> 凍れる街	3
第2話	<sup>ガラ</sup> 雅楽とボク	19
第3話	伝えたい、伝わらない	35
第4話	秘め事	51
第5話	DISCORD RECORD	67
第6話	氷細工の夏	83
第7話	<sup>オリ</sup> 冬の檻	99

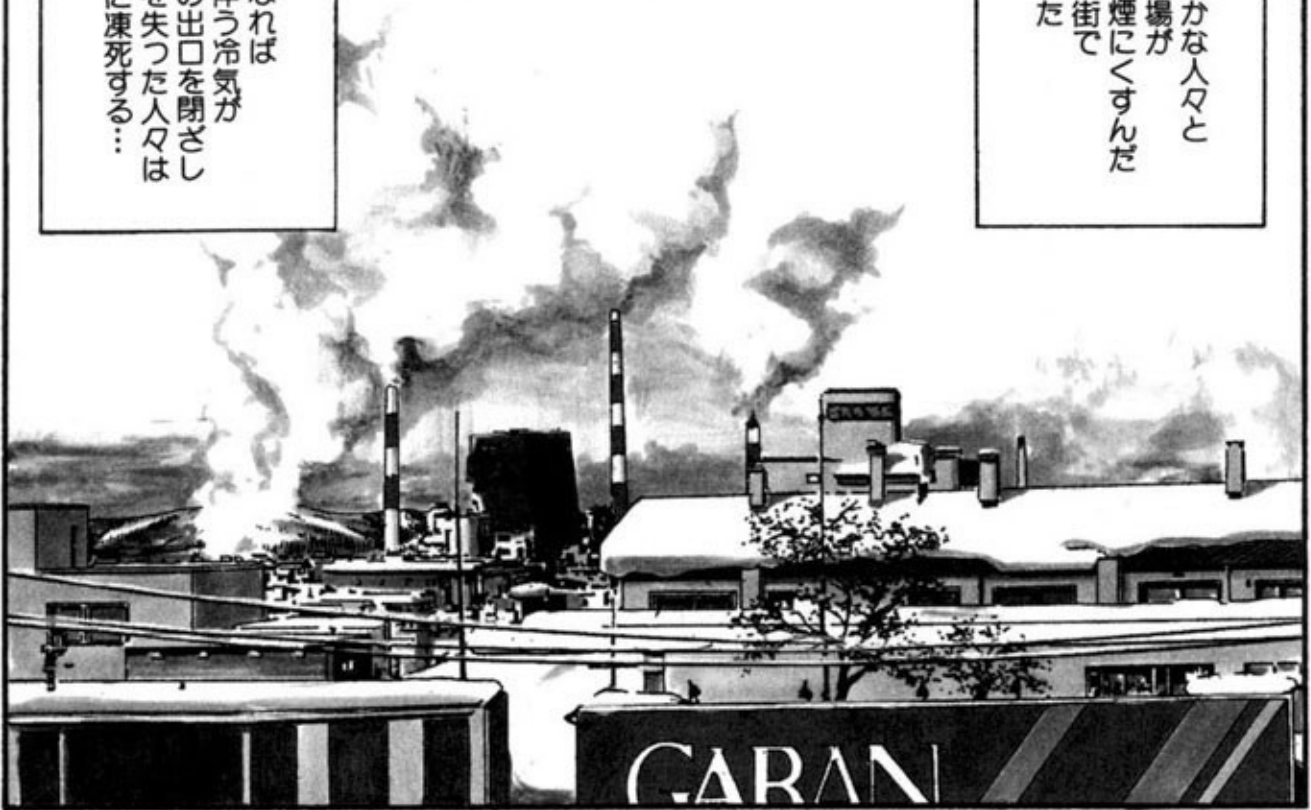
点子先生と安東。	115
点子先生の憂鬱。	131
点子先生の災難。	147

## オマケ

Winter Guaranaは続きます	163
ボクにとっての「北海道・旭川」	164
ガラナこの怪しいドリンク	165
児童ポルノ禁止	166

善良で愚かな人々と  
斜陽の工場が  
吐き出す煙にくすんだ  
何も無い街で  
僕は育った

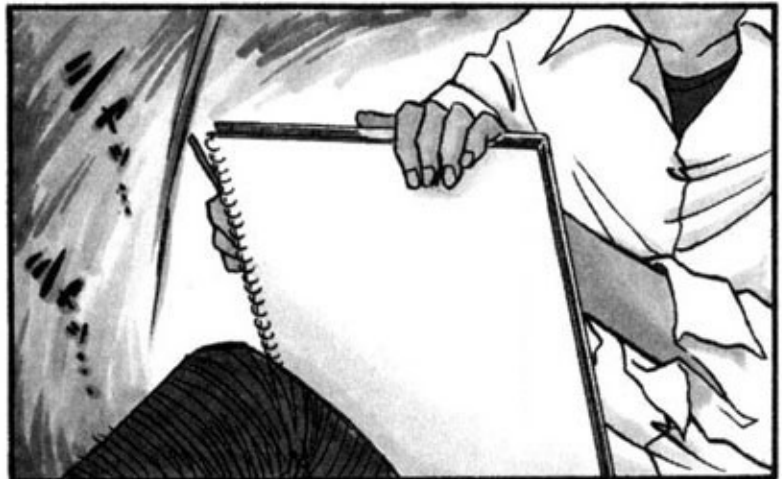
冬ともなれば  
疼痛を伴う冷気が  
街と心の出口を閉ざし  
行き場を失った人々は  
緩やかに凍死する…

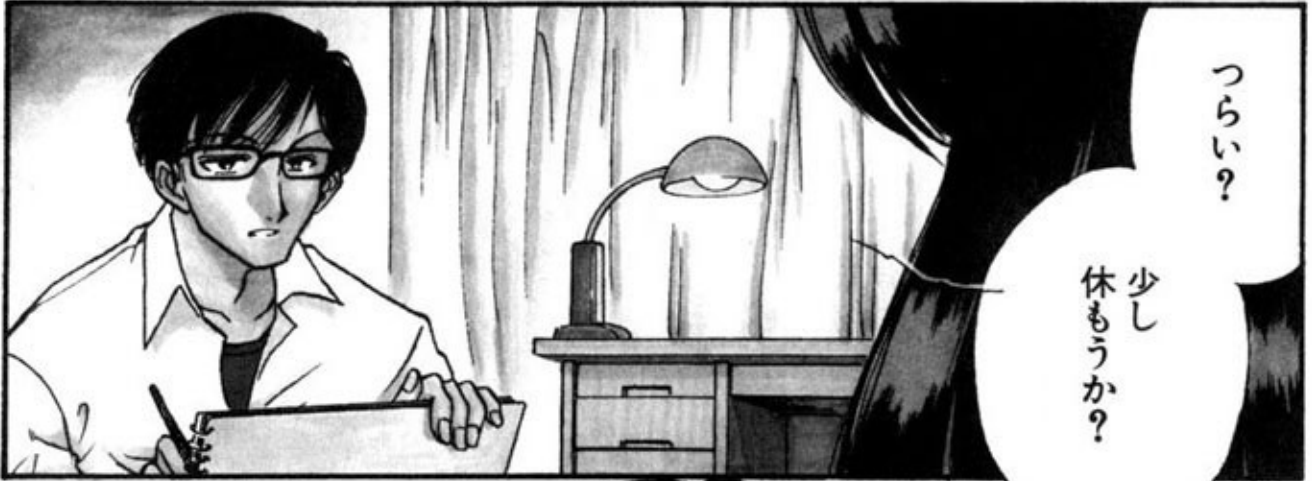


けれど

そんな街で  
僕は君と  
出逢ってしまった

しば  
第1話 凍れる街





僕のカノジョは  
美しかった

桂馬くん…？

どんな小道具で  
恥態を装ったと  
しても

僕の力では  
紙一枚にその姿を  
封じ込めることすら  
叶わない……

あっ…

は…ん

やっぱり…  
する…の？

憎いのか？

いや違うー  
こんなにも…

あっあっあっ  
やっ…やっ…

そん…な…ッ  
しな…いで…ッ

やっ…あっあっ

あっ…

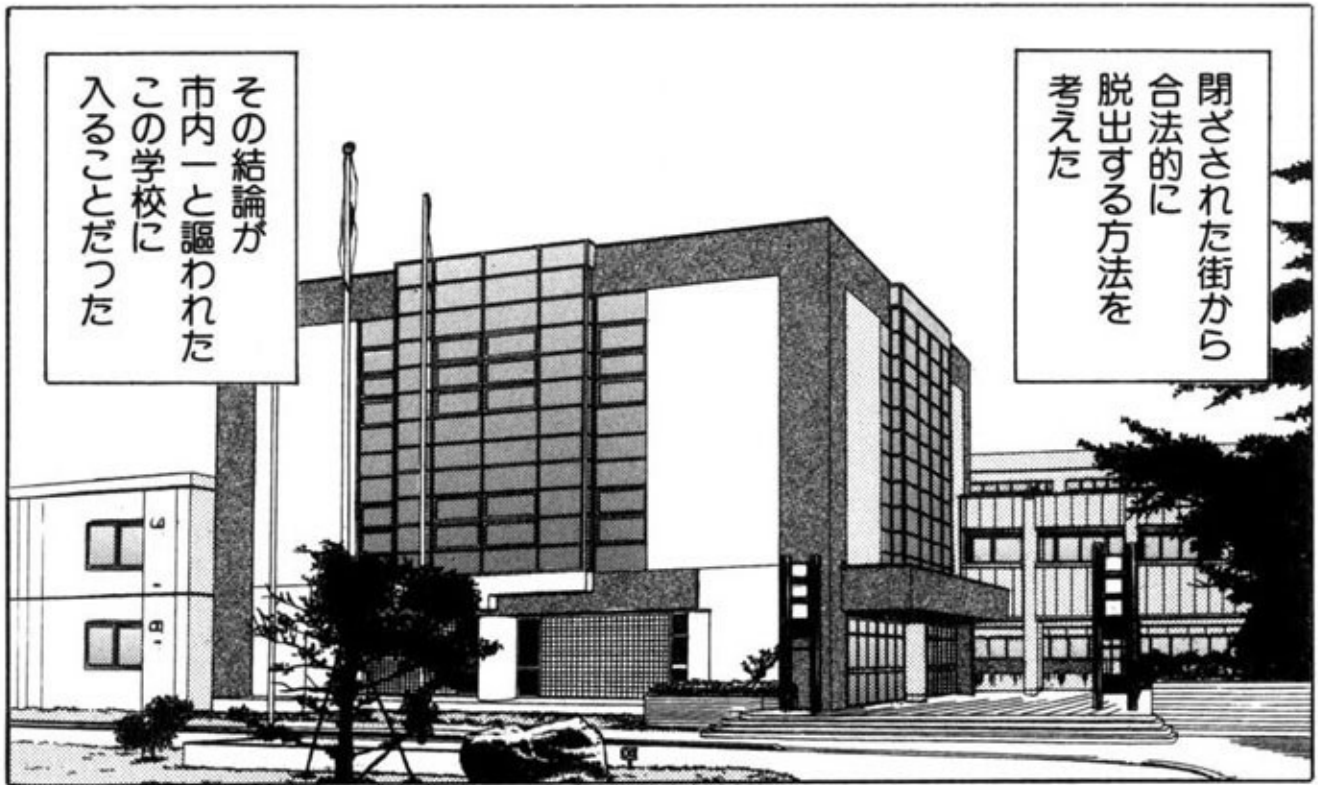
愛おしい…  
だけどー  
届かない…

スト

スト

はあ





閉ざされた街から  
合法的に  
脱出する方法を  
考えた

その結論が  
市内一と謳われた  
この学校に  
入ることだった



「東京の学校に  
進みたい」とても  
しおらしく言えば  
反対する大人は  
誰もいない

おーい  
桂馬ーッ



何だ？

音楽室  
借りられたから  
放課後  
練習な！

悪イ…

ヤボ用  
あるんで…  
今日は勘弁…

したっけ  
学祭の曲目  
決めねば  
なんねーべや





無気味だな...  
「へび女」と  
文芸部のダサ子どももの  
群れ...

ありやあ  
いくら何でも  
近寄り難いべ



雅楽のことを  
わざと  
「へび女」と形容  
するのがはやった

それほどに  
凡庸な俺達とは  
存在が  
かけ離れていた



透明な柔肌  
漆黒の黒髪と瞳  
時代錯誤なまでの  
その美貌

雅楽はアイドルに  
なる以前に  
俺達の劣等感を  
刺激して  
腰を引かせた



誰もが意識した瞬間にみじめになると知っていた…いつしか

雅楽の周りにはオタク女の垣根ができてそれが彼女の存在をより遠くに押しやった



そんな雅楽が古式ゆかしくラブレターを書いた

宛名は「冬野桂馬様」



うれしい…

来ないかと…  
思ってた…

これは何の  
イタスラだ？











なんだよ  
これ…!?



したっけ…  
コレは  
キツイベヤ…

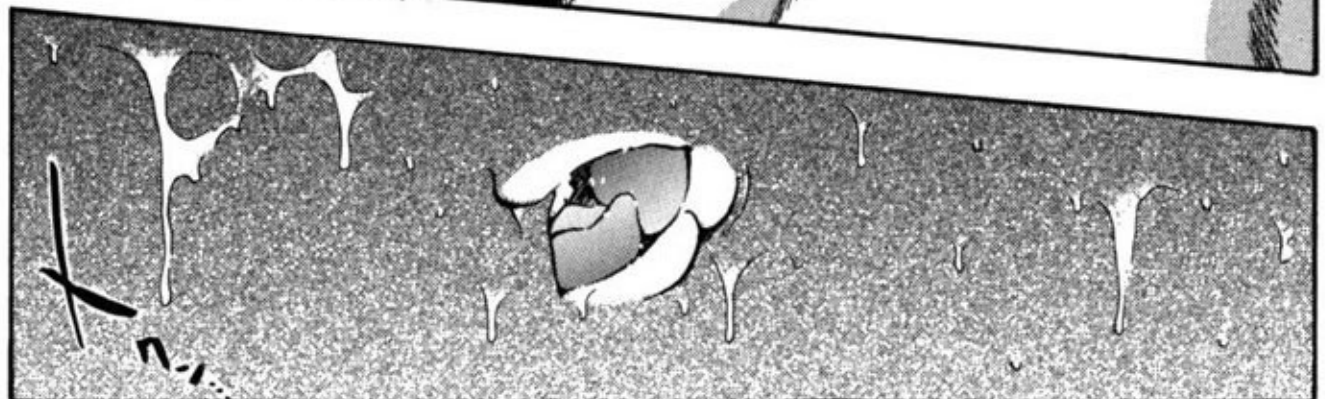


悪イ…  
読んだた…



森山さんって…  
案外  
スケベなんだな





教えて……!

冬野さんの  
気持ち……!

目の前に  
広がる——

どんな妄想も  
凌駕する  
まばゆい光……



恥ずかしい…

灯り……  
消して…



体の芯が  
熱く脈打つ音で  
何も聞こえない

だのに  
心の奥底では  
不安だけが  
覆っていた

ガラ  
第2話 雅楽とボク



ガラナ  
南米の精力剤「ガラナ」の  
成分を使用したと謳った  
俺の住む地方では比較的  
ポピュラーな炭酸飲料だ  
ナンのことはない  
コーラのバチモンの味がする

森山雅楽の名前を初めて聞いたとき  
なぜか俺はこいつの名前を  
ダブらせていたのを  
思い出した



なしてさ〜  
今さらそれ  
ないっしょや〜



したっけ……  
親が  
急な転勤で……  
俺だって嫌だけど



終業式前に  
静岡さ  
引越すから…

どーすんのさ  
ボーカル抜けたら  
話になんねーべや!!

北国にも  
夏はある——  
とても短くて  
とても…暑い……





ちょっと来い！  
夏子！！

やだー  
犯されるウ

ギャッ



つき合うとか：  
まだそんなんで  
ないって…

ワッ  
ワッ

あオレ  
名案  
思いついた！！

この際だから  
森山雅楽で  
ハヤリのレディース  
ボーカルで！！



おめーさあ  
そのこと  
ペラペラ  
しゃべんで  
ねーぞ！！

な  
な  
なしこさ

したっけ  
森山さんとかに  
迷惑だべや！！



な…

何さ！  
わかったよ  
バカ桂馬！！

フラれたって  
慰めてなんか  
やんねーよ！！

カアッ



そしてまた、俺はあの感触を反芻する——





だって…  
こんな…

ダメだよ  
もっとよく…  
見せてよ…

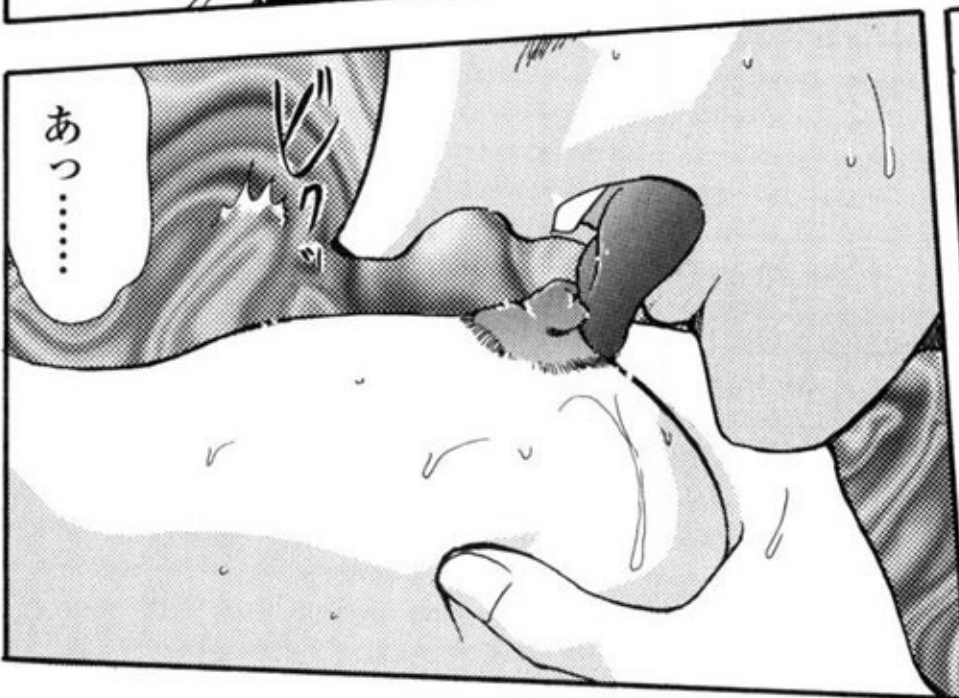
恥ずかしい…



んっ…



顔…  
見せて…





ねえ…

どうなの？

ナンか…  
言ってるや…



はあ…

はあ…

はあ…

気持ち…いい…

もっと…  
して…



魔法の音…  
魔法の景色…  
魔法の…コトバ

俺の中で  
スイッチが入り  
ボイラーが燃える



ここが…

や…あ…

そ…こ…

まだ…  
ダメツ…

ク…

ハ…



ヘンな  
カタチだ  
それに…

臭い…

ハ…



や…あつ…  
ウソよおつ…

そんなこと  
言っちゃ…  
ヤ…ダ…

いじっちゃ…  
ダメ…エツ…

ハ…



なんだ  
これは……  
なんだ!?

激しい昂りが  
止まらない……  
止まらない!!

ズ  
ズ



小刻みに震え  
激しくうねる  
雅楽の肢体が  
脳髓の一点を  
突き刺して

あっ

あっ

やつはっ……  
あっあっっ

はんっ  
はあっ

その先……  
その先へ……  
衝動の帰結点へと  
誘っていく……

ズ  
ズ

ズ  
ズ





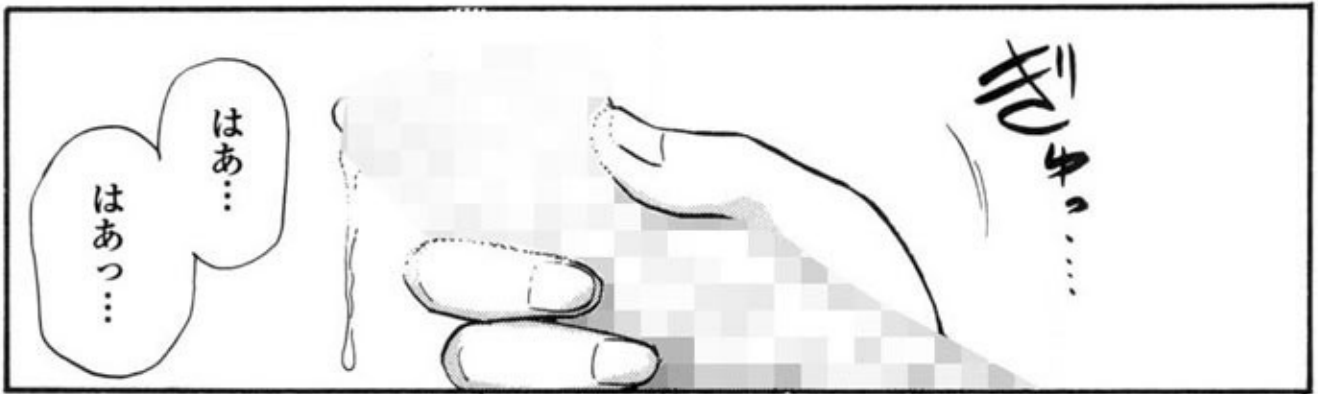
待ってて…

ウチに…  
あるから…

いま…  
持ってくるから



んなモン…  
持ってねえよ…



ぎゅっ…

はあ…

はあっ…



森山雅楽は  
そうじゃ  
ないのか!?

俺の他に…  
俺の前に…  
誰かと…

俺は…  
初めてだけど



そのとき…  
気づいたんだ



モリヤマガラハ  
シヨジヨジヤナイ

またぞろ  
俺の中の  
劣等感が  
首をもたげる



つけてくれよ

俺……  
そーゆーこと……  
知らねえから……



ごめんなさい

あの……  
冬野さん？

んん……



冬野さん……





.....  
ちくしょう.....

これでいい？  
冬野さん

んっ...



キョ...



えっ...?

待って.....  
冬野さん.....  
違うの.....



ナンで.....  
こんなこと  
できんだよ...

森山さん  
さぞかし.....  
うまいんだね...





第3話 伝えたい、伝わらない



冬野さん……  
……  
本当に……  
あたしのこと……  
……好き……？

もう……  
挿入いれかしても  
いいんだらう？





あっ...

はっ...



はじめて知る  
感覚が  
俺を包み込み

電氣的な  
刺激となって  
腰骨から背髄を  
一瞬で貫いて……

はあっ

あっ……  
冬野……さんっ

……ん……



くっ…

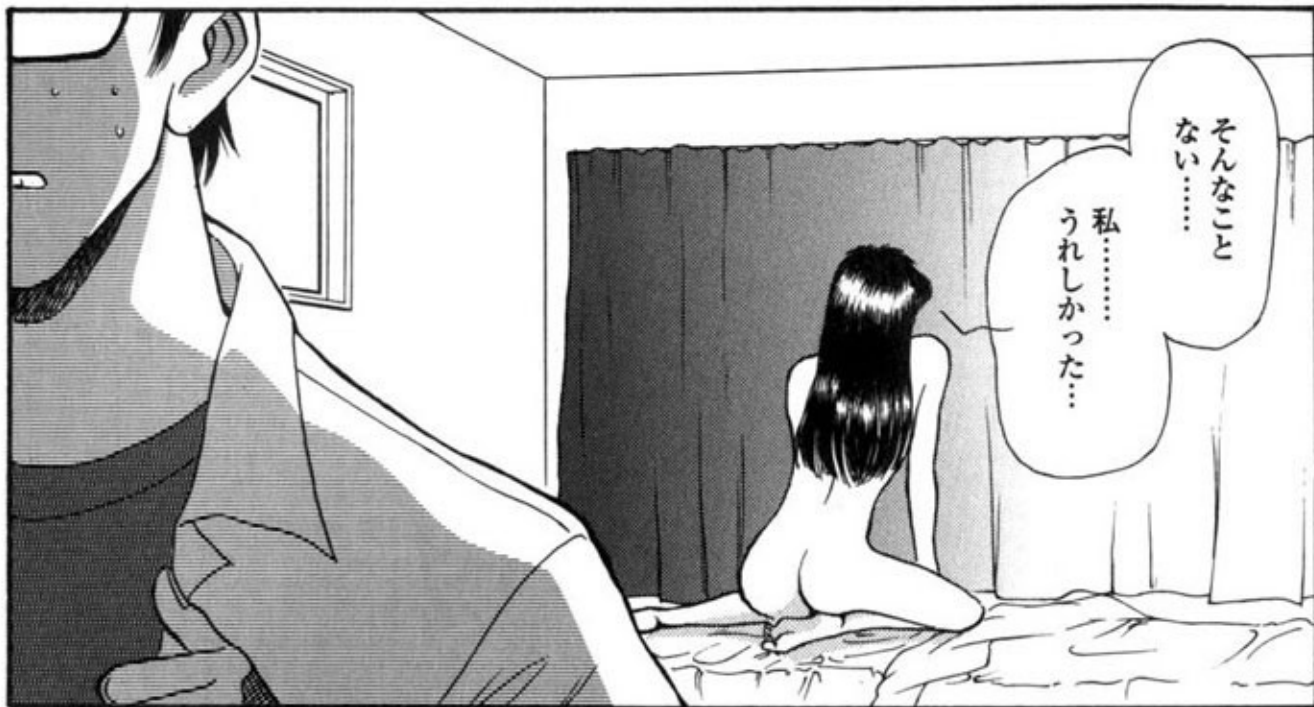
吐き出される精

はっ…

笑えよ…

こんな…  
早漏で…





そんなこと  
ない……

私……  
うれしかった……



最悪の  
初体験……

気まずくて……  
うしろめたくて  
雅楽の家から  
逃げ出した……



……何で  
こんなことにな  
っちまった  
訳よ？

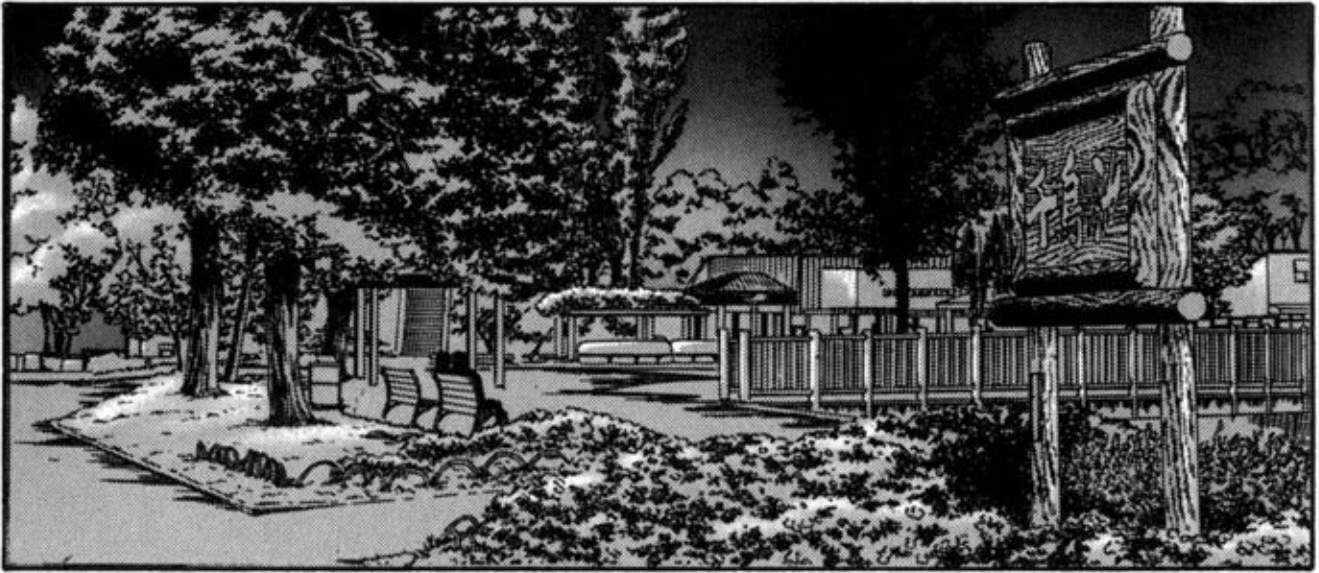
俺はいつたい  
どーしたかった  
んだ？  
俺は……森山と  
どうしたら……

森山のこと……  
好きなのか？  
本当に……

森山は……  
かわいいし……  
あの体……  
思ってた以上に……









うそだべや  
みんな  
言ってるっしょや

あんた  
それはちよつと  
嫌味だべ——

したって——

うそでないって  
あたし自分のカオ  
変だと思ふもん



んなこと  
あったっけか？

あの絵……  
いまあたしが  
持ってんの



冬野さん  
一年のころ……  
美術の時間に  
あたしの絵  
描いてくれたっしょや



ごめんなさい  
パクったの……  
美術室から

冬野さんが  
描いてくれた  
あたしの絵……  
宝物なの





ううん…

うれしかった…  
本当はもっと  
したかったの…



んなわけ  
ねーべや！  
…好きだよ

…ただちよつと  
訳わかんなくて…  
あんなこと…  
しちまつて…



冬野さんに  
触られるだけで…  
クラクラして…  
熱くなるの…

いま…こうして  
話してるだけで  
……どうにか  
なりそうなの…



本当は…

この前  
みたいなこと…  
毎日…したい…



森山雅楽の  
アソコは  
比喻でもナンでもなく  
くしょくしょに濡れて  
パンツが汚れていた

俺たちはこの先  
どうなっていくのか……  
満ちた月だけが  
二人を視姦していた



第4話 秘め事



あつ  
……やつ……



はあ  
はあ……



たまんねえ  
森山さんと  
へっぺしてんだ  
……俺……

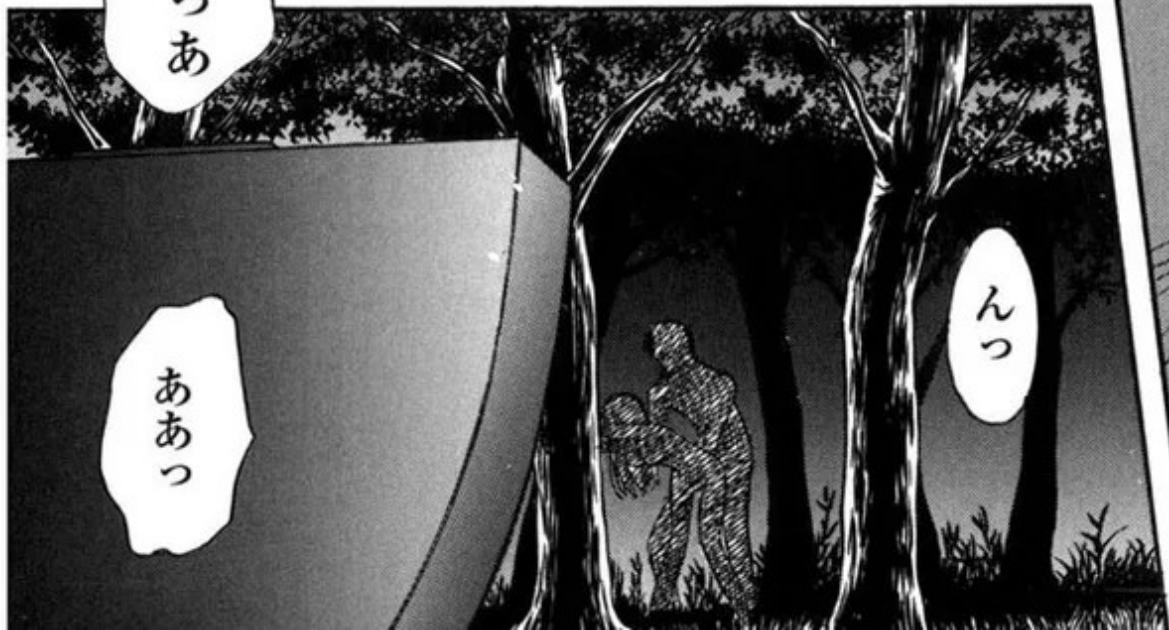


誰か...  
来たら...

恥ずかしい...

月明かりに  
白い肌をつたう  
ぬらぬらとした  
粟が光る







いやっ…

冬野さん…

こんな  
格好…  
…や…



怖い…

冬野さんの…  
顔が…  
見えない…



背中…  
痛くない？

大丈夫…  
…こっちの  
方が…いい…





んあっ…

はっ…

んっんっ…

冬野…さんっ

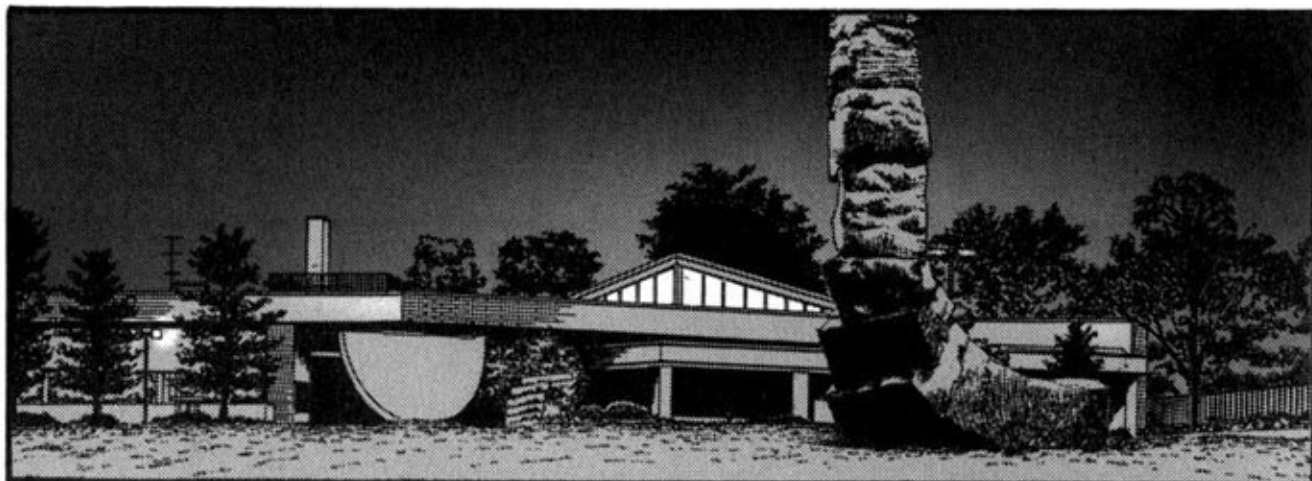


ダメだ…  
もう…

出るっ…

は...あつ

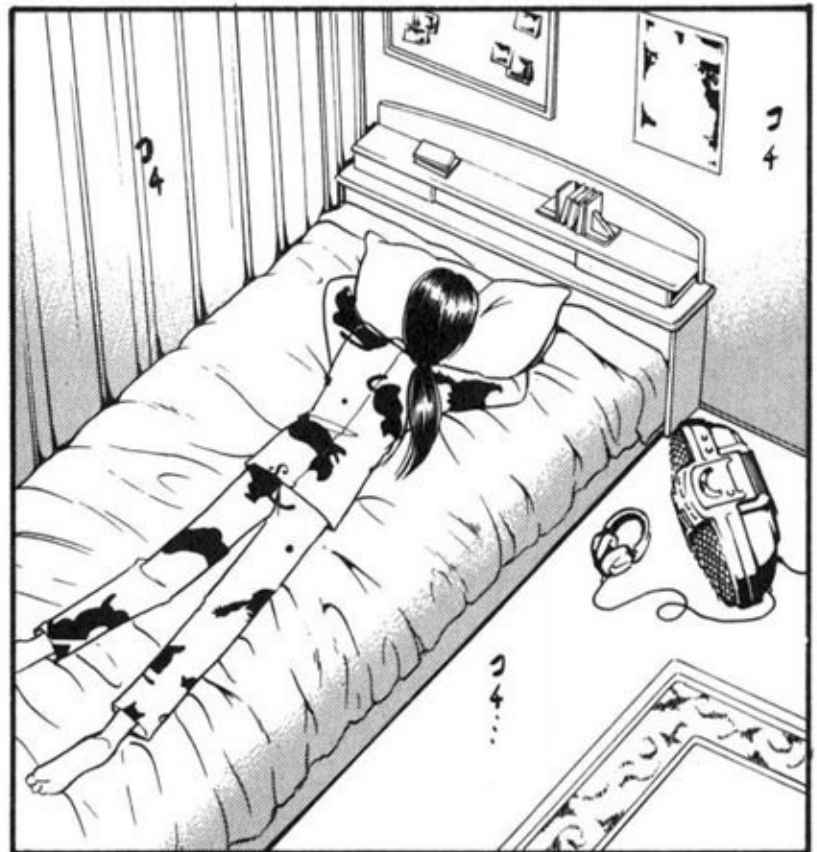


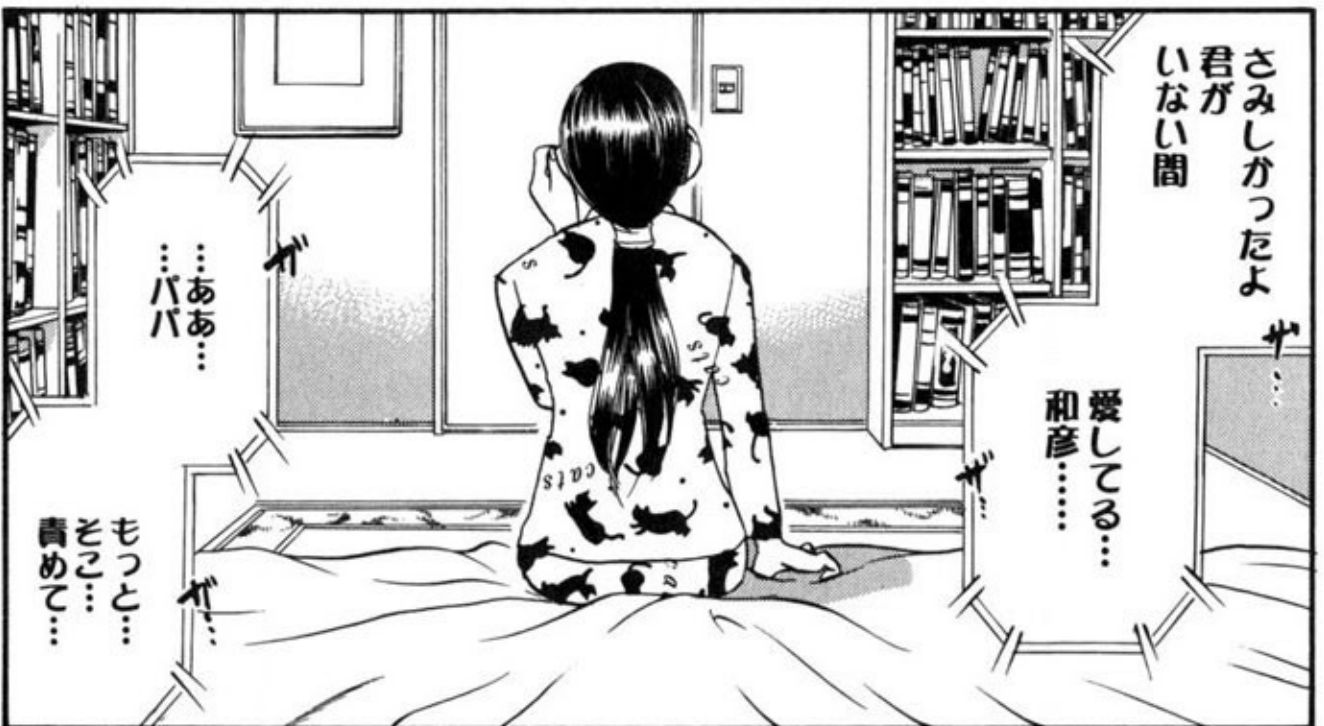


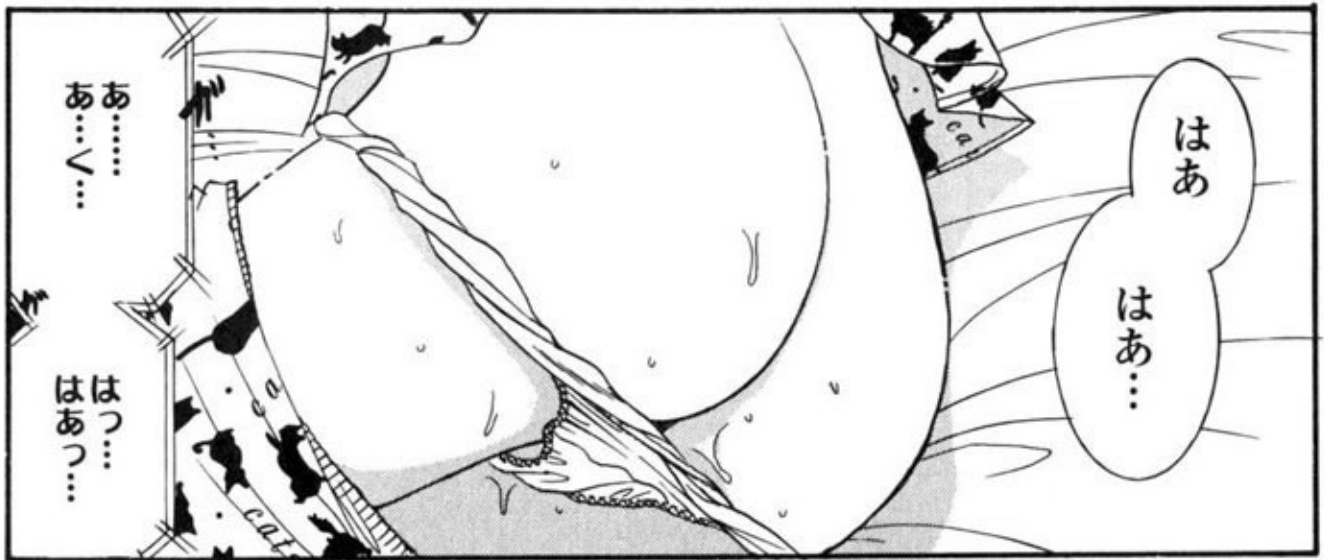














第5話 **DISCORD RECORD**

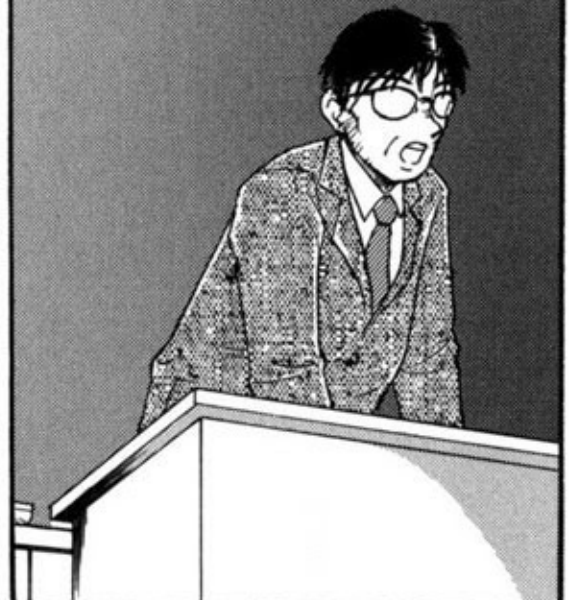
高2の夏は  
最後の  
モラトリアムだ

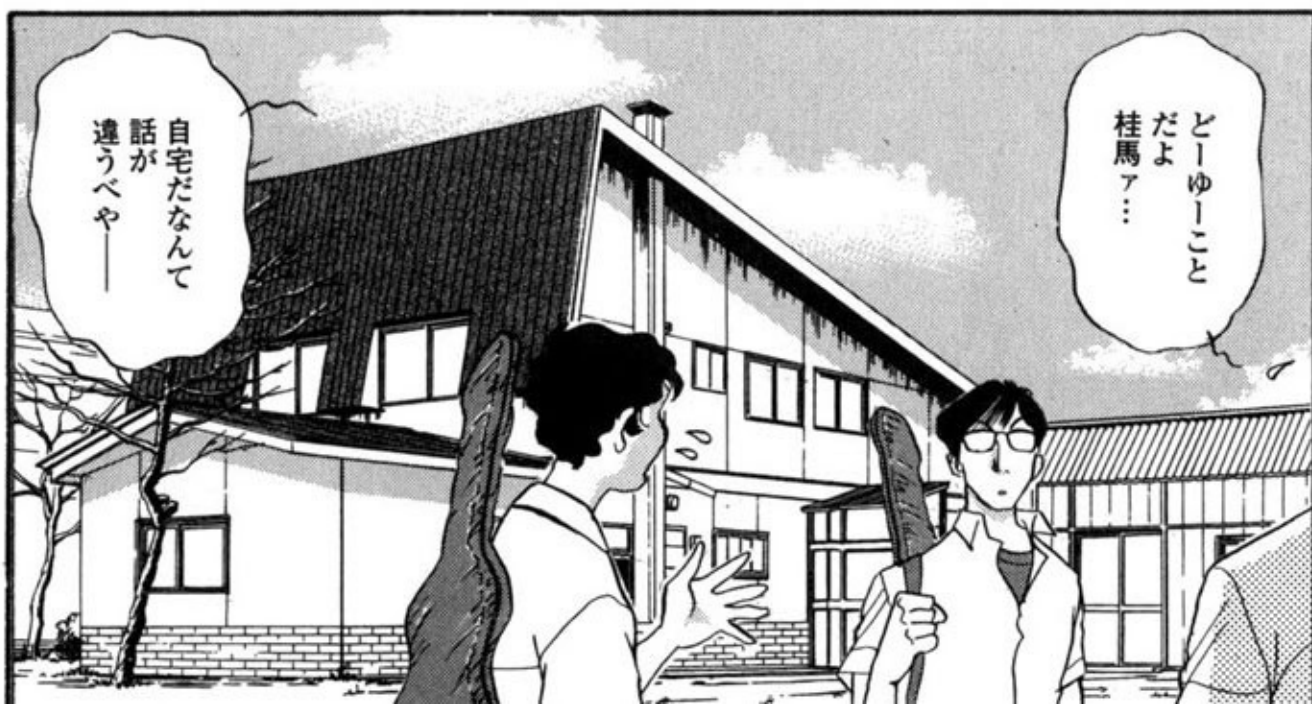
短い夏が  
過ぎればすぐに  
学校祭<sup>イベント</sup>があり——  
他を出し抜きたい奴は  
その後一切を捨てて  
「戦争」に向かっていく



俺から何も  
言うこたあないが  
この夏を  
おろそかにして

再来年の春に  
泣くのは自分だつて  
ことを忘れんな!  
——以上!!





家でないさ  
こっちの  
プレハブ

叔父さんが  
住んでた部屋……  
内地さ転動したんで  
勉強部屋って言い抜けて  
貸してもらったさ



いらっしやい

今ちょうど  
掃除  
終わったとこ



壁全面に  
吸音材さ  
張ったんだ

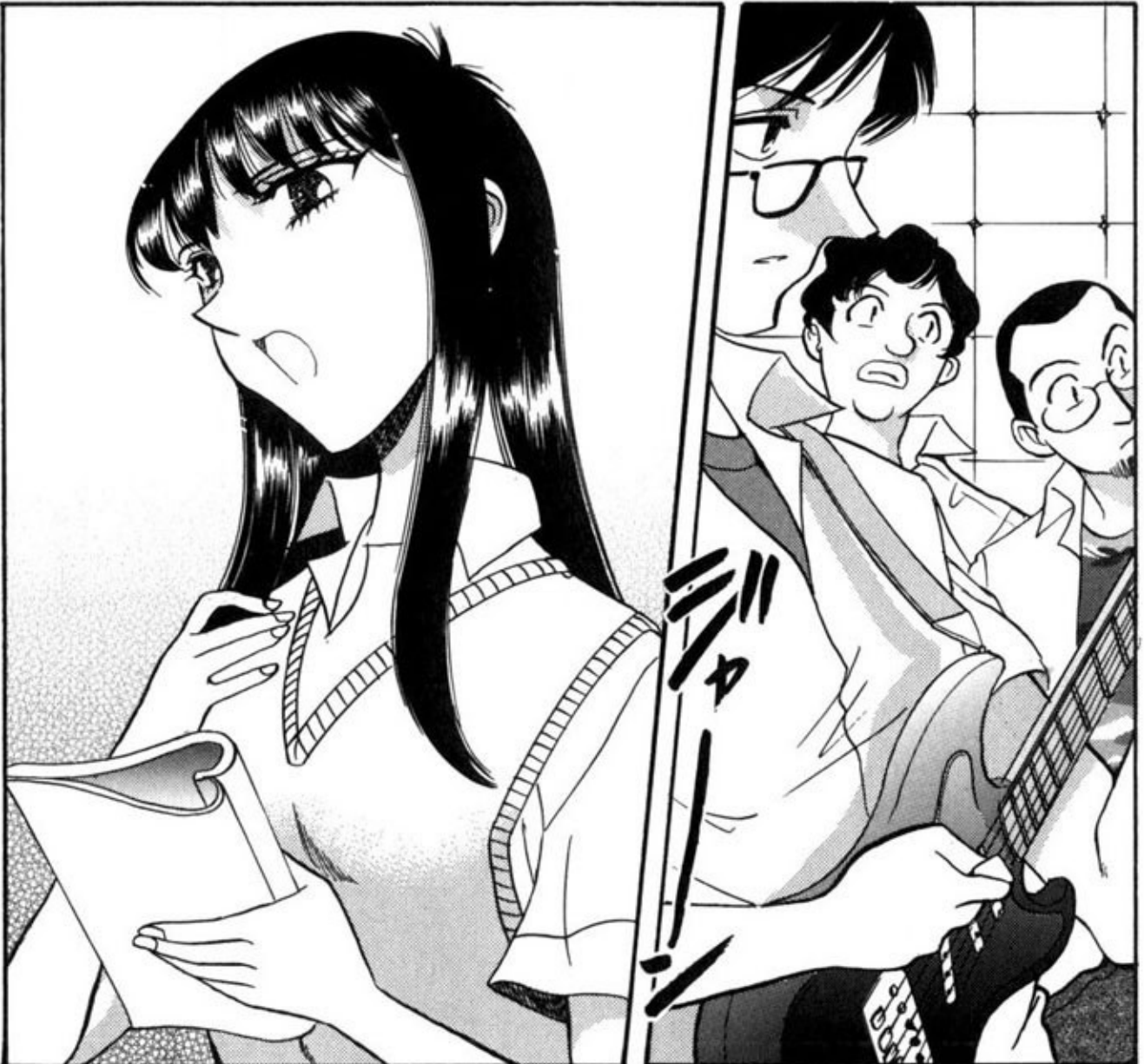
これなら  
十分スタジオに  
使えるべき

おお〜っ

ホスッ  
ホスッ









はじめて聞く  
森山雅楽の  
歌声は



感動以前に  
俺たちを  
萎縮させた



ナンか…  
勉強とか  
してたの？

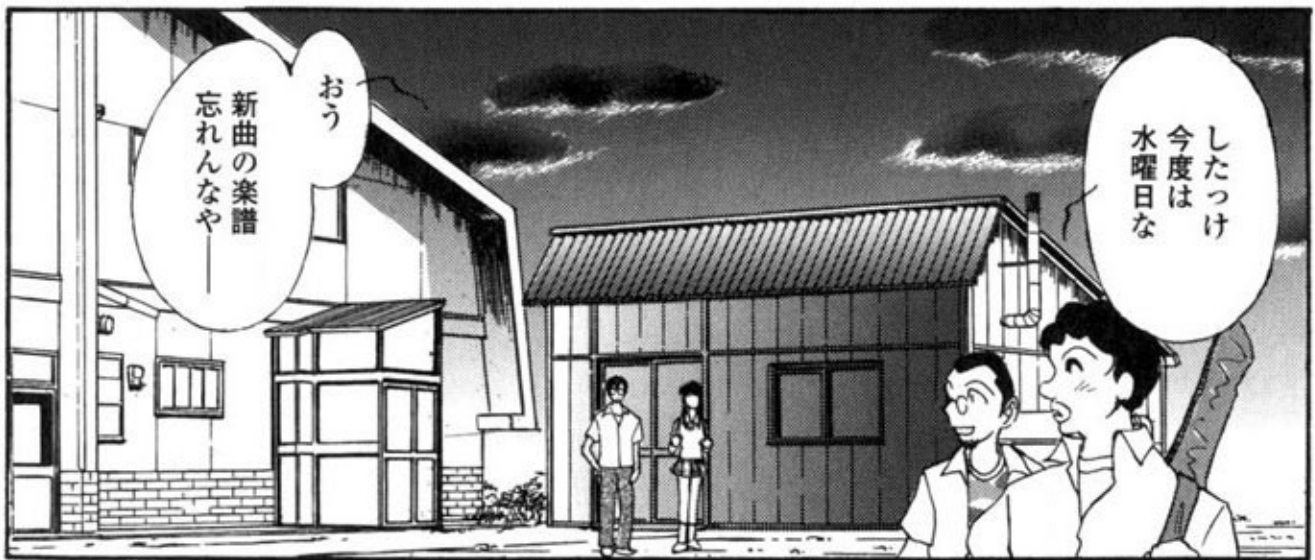
すげーよ  
森山さん



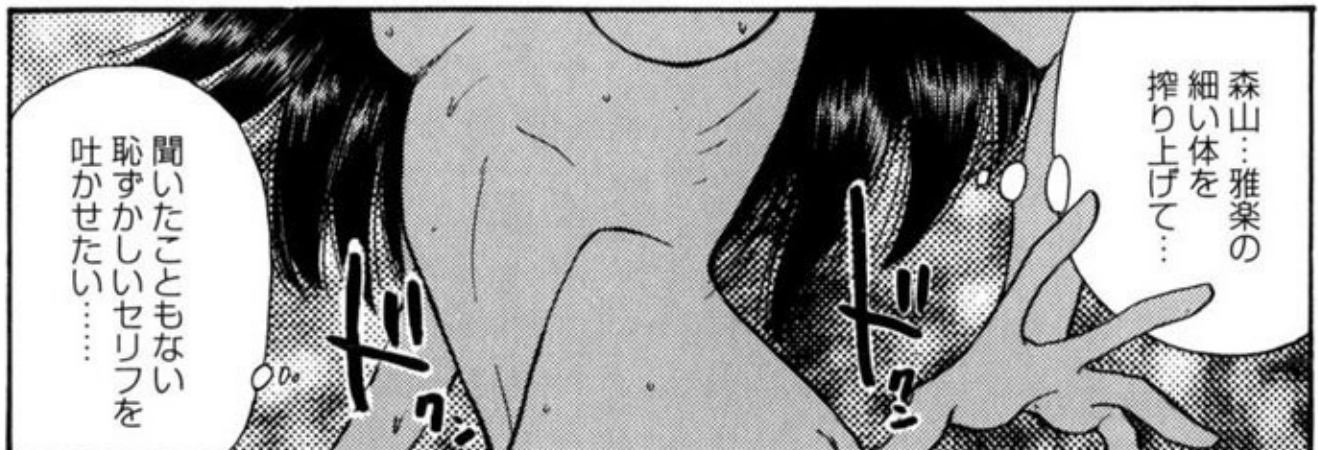


そんな  
熱血青春ノリで  
ふっきれるほど  
俺たちだって  
バカじゃない

森山雅楽と  
俺たちの  
ステージの違いを  
思い知るたび  
コンプレックスという  
感情の意味を知る









そんな醜い感情が  
自分の奥底に  
あったことに  
びっくりしながら

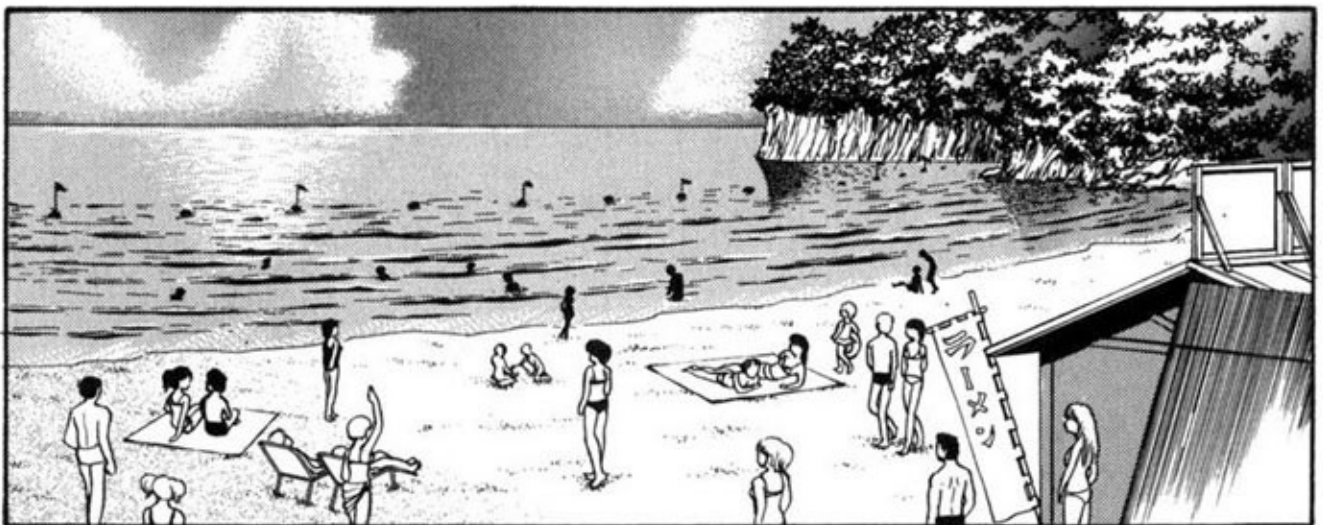
それを揺り起こす  
森山雅楽という  
存在に今さら  
恐怖する――



ガシ...

はあ  
はあっ

森山...



どうしたの？

あんまり  
元気ない  
みたい…

そのときなら  
まだ引き返せたかも  
しれない



夏の日差しが

僕らの  
凍てついた世界を  
一瞬にして溶かした  
それは――

すみませーん

ちょっと  
いいですかー？

SSSテレビの  
「どきん子タイム」って  
番組なんすけどオ

再び  
氷の世界に  
僕らを  
閉じ込めるための



全道212市町村の  
皆様こんにちは〜!  
SSS「とさん子タイム」  
夏休み特別企画!!

「アイドルを探せ!!」  
第2回はここ  
小樽蘭島海水浴場  
からお送りします



あ……

旭川から  
来ました……  
森山雅楽  
16……さい……です

のつけから  
スタッフ一押しの  
女の子の  
登場でーす

お名前を  
どーぞオ



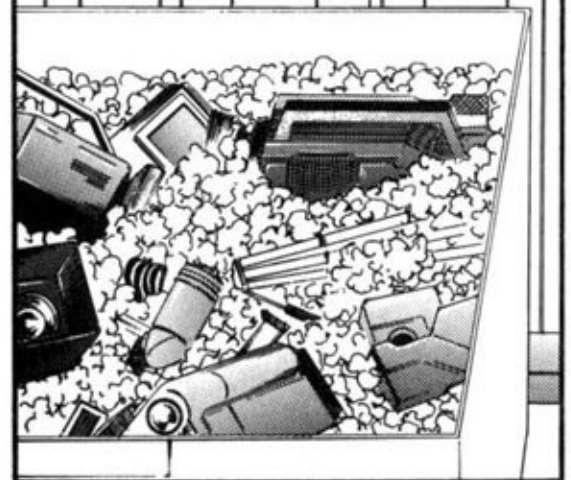


# 第6話 氷細工の夏







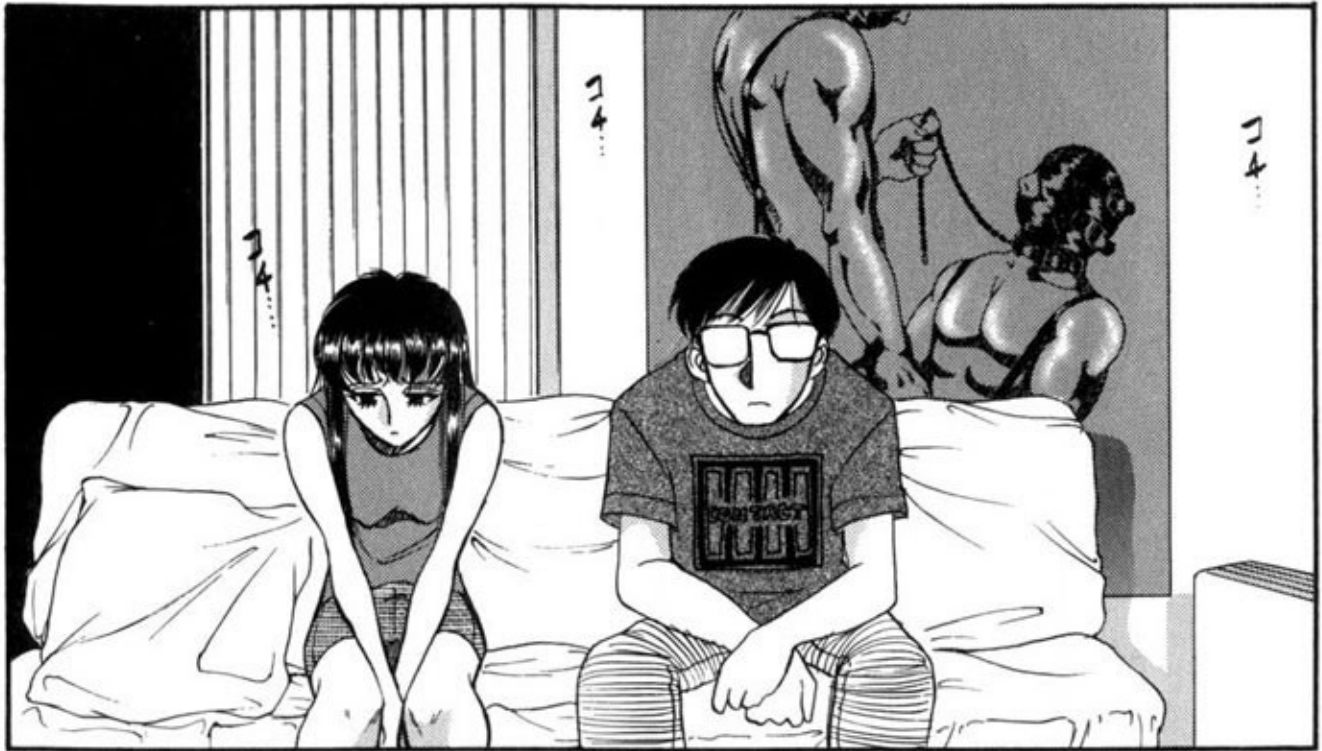
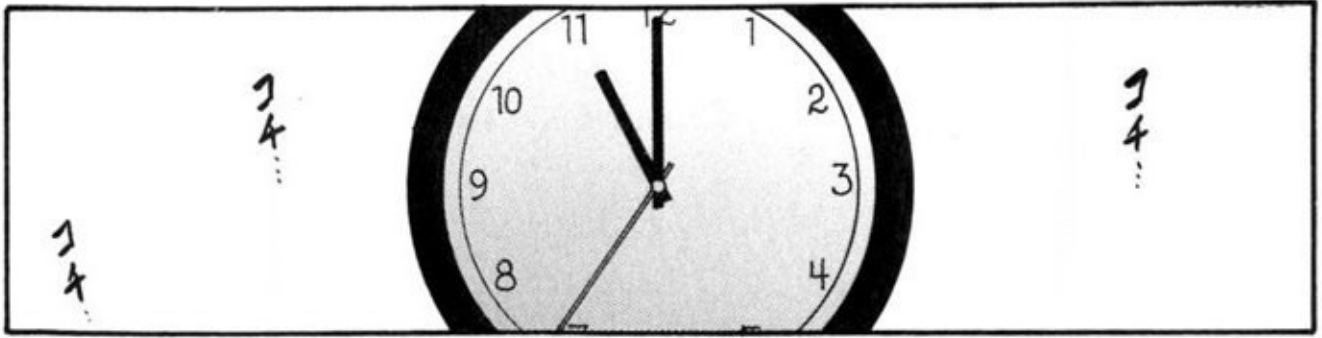






狭量な  
俺の中の  
コンプレックスを  
止められない……









結局…  
あの本…  
返しそびれ  
ちゃって…

びっくり  
した…けど



どう  
思った？



したっけ…  
あの本…  
よく読んでる  
ふう  
だったべや



知ってるよ

森山雅楽は  
俺らとおんなじ  
スケベエだって



ガタッ

…!!  
冬野さん  
あたし…そんな



んっ…

やだっ…

冬野さん…  
ここ…ダメ…ッ  
お兄ちゃんの…

スト  
ツ

したら  
どこなら  
いいんさ!?

ハア

ハア



俺のことさ  
好きなら…

俺の……  
俺だけのモノに  
なれや!!

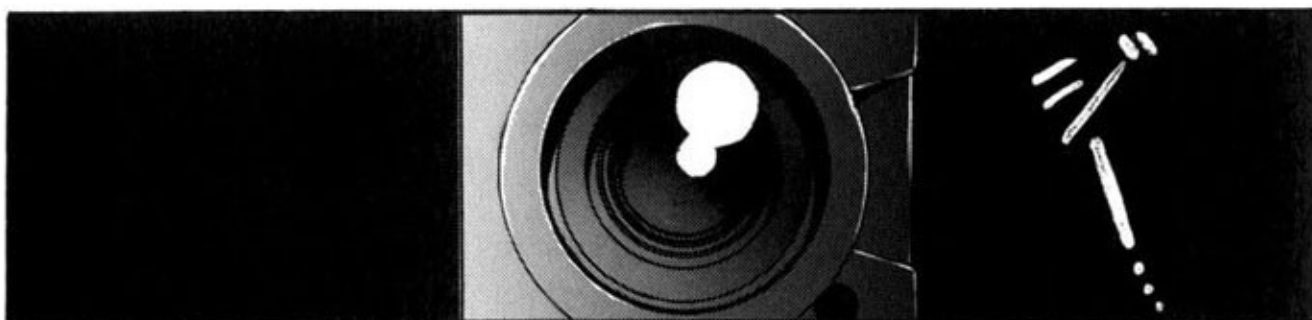


そんなの…  
あたしは…  
冬野さんなら  
……いいの…



俺は…  
不安で…

冬野さん







キミが  
どんなふう  
に  
雅楽を愛する  
のか

ボクの前  
で  
証明して  
みせて……



頭の中  
が  
まっしろにな  
って



俺は  
否応なく  
閉ざされた環  
の中に  
組み込まれて  
いく

第7話 冬の檻 オリ





冬の檻に  
再びほくらは  
閉じ込められる

けれど  
今では

苦痛だった檻と  
共犯している  
自分に気づく…



森山雅楽を  
このまま

氷像の中に  
閉じ込めたい  
衝動にかられる

いや

何でもない…



冬野さん？



忙しい  
ときは

冬野さんの  
こといつも  
思い出してるよ



東京の……  
仕事のほうさ  
どーよ？……

進級できる  
くらいに  
抑えてもらって

例のドラマ  
デビューの話は  
断っちゃった



無理する  
ことねーよ

森山は……  
俺ら凡人とは  
違うのさ……

俺は結局  
このハンカクせー  
田舎町から  
出られねーべ



一緒に  
東京さ行こ！

一緒にの大学  
通って……  
一緒に住むの……  
……それが……



そつたらこと  
ゆわんで……

悲しくなる……  
……ねえ



着替えは…  
してきた？



あの日以来……ぼくらは檻の中に閉じ込められた……



雅楽は……  
こうしてあげるのが  
好きなんだ

冬野くん……  
これ……

そんなこと……  
……言えない……

使い方は  
わかるだろ？

……

だめ……  
撮っちゃイヤ  
……やめて……  
冬野さんっ

やめて……っ  
そのまま  
雅楽の表情を  
覗いて  
あげて……

冬野くんは  
緊張してる  
みたいだよ

雅楽……

森山雅楽の

今まで  
見たこともない  
貌かお

REC.



凄...

こんな...

はあっ...

くっ...

あっ.....

クッ



ぐっ...

あ...あっ

はあ

あっ

あっ

CONTACT



クホッ

クホッ

REC

12:14



もう  
遅いよ...

君が...  
雅楽の中の  
獣を  
起こしたんだ...



イメージが崩れた？それも全て

君の責任だ：それでも雅楽を愛せるのなら



君を認めようでなければ

今すぐ僕らの目の前から消えてくれ：

はあ

はあ

冬野さん…

あたし…  
…もう…

はあ







はあっ

あっあ

あっ

欲しい…

もっと……  
欲しい……のオ

クキキキ

クキキ



僕と雅楽は  
この世でたった2人の  
兄妹だ…

僕は雅楽を  
守るために  
何だってやったさ  
けれど……

家族と肌を  
合わせることは  
できない…  
ましてや

己の分身  
なんだよ……  
雅楽は……  
そういう娘だ…

あつ

はあつ

君はいつか  
僕らの秘密を  
共有すること  
になるだろう

その資格が  
君にはある…  
気づいてないかも  
しれないけど…

冬野さんっ……  
いいっ……いいのっ……  
お腹の中っ……冬野さんのおチンチン……感じるのっ  
何度も……来るっ……

もっと……撮って……  
あたしの……いやらしい顔……いやらしい所……  
刻みつけて……っ

そんなにいいのかわ!!  
ホモの兄貴に見られて  
カメラ越しに覗かれて  
スケベな汁を吐きだす  
変態がっ……このっ……

だめっ……だめっ……あっあ  
また……来る……冬野さんの  
大きい……奥までっ……  
こすれて……ねえっ……ねえっ……  
イッて……イッてよ……あたしでっ

出すぞ…ッ  
腔中<sup>なか</sup>でっ…  
あんなに嫌がってたのに  
このっ…このっ…

熱いっ…  
熱いのっ…  
わかる…はっ

あっあっあ  
はーあっ

ド  
ッ

ド  
ッ



あの……  
変な味の  
炭酸飲料を



口いっぱい  
ふくんだときの  
あの感じ……





僕と雅楽の  
物語はいつかまた  
話そう

凍りついた  
時間をゆっくり  
溶かすように

# 点子先生と安東。









図体ばっかり  
デカイガキに  
ナメられて……  
心底我が身の  
ハンディキャップを  
呪うよ……

25歳  
斉藤点子

3年待って  
ようやくなれた  
憧れの教職  
だったのに……



わっ……

ガァッ



何やってんだよ  
チビのくせに……



いったあ〜い

ド  
ガ  
ン  
カ  
ラ  
ン



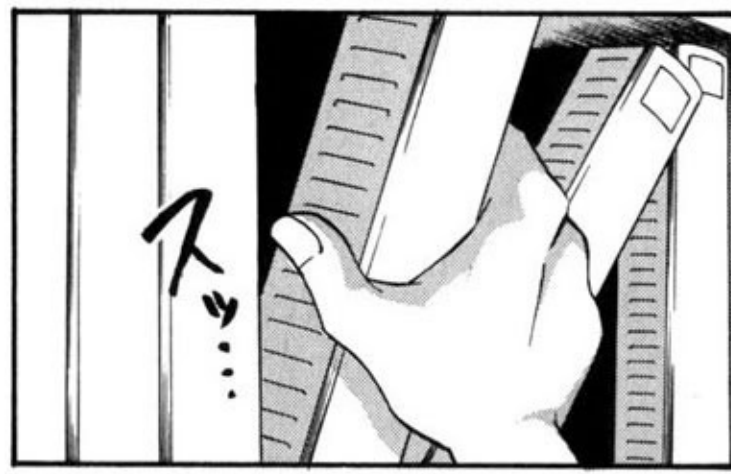
あんたみたいな  
ウドの大木より  
マシだよッ

バ…バカに  
しないでよ

カアッ



安東……



アッ……



あ…  
ありがと…

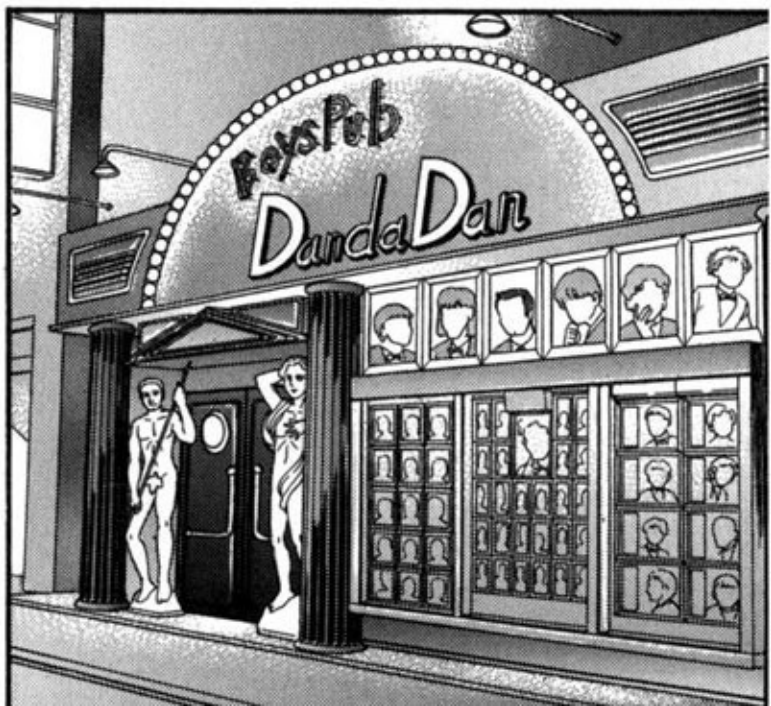
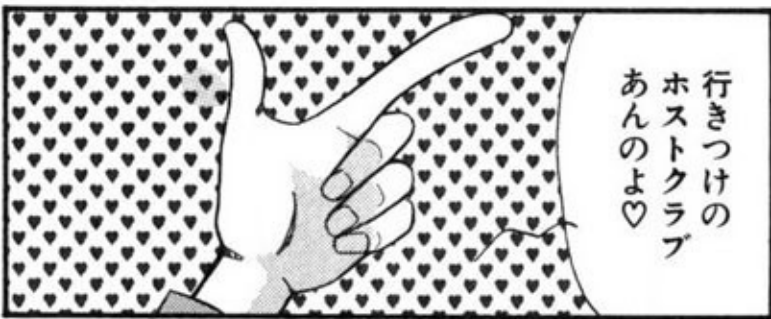


ニイ…  
ウドの大木でも  
コキ使って  
いいんだぜ…  
先生なんだから



そりゃ  
大変だね…って  
言いたいトコだけど

どだい点子が  
センセイだなんて  
無理があんのよ





サトシです  
よろしくー



いらっしやい  
今日は  
新人のコ  
紹介するから



こらサトシ  
あいさつ  
しろって……

やっべ……



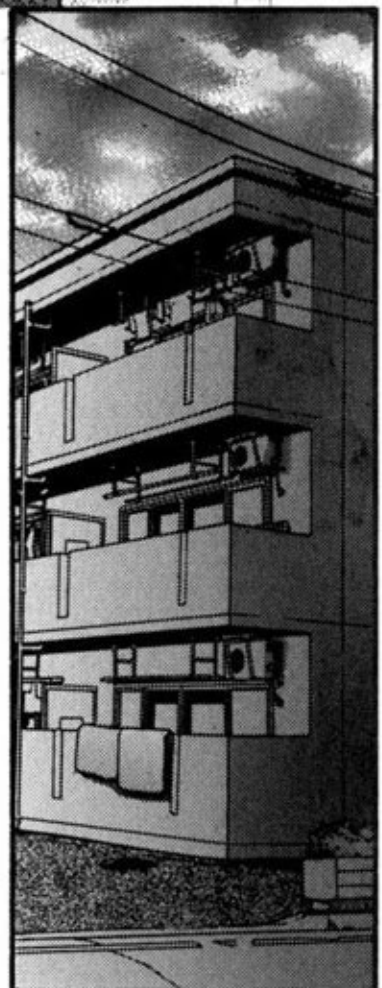
どしたの？  
点子——

あ……



安東——ツ







あれ？  
言ってます  
でした？

安東くん

一人暮らしなの？  
ご両親は？



オヤジは  
愛人作って  
出てっちゃって

その直後に  
母ちゃんも  
姿消しちゃって…



ぐすっ…



点子センセ？

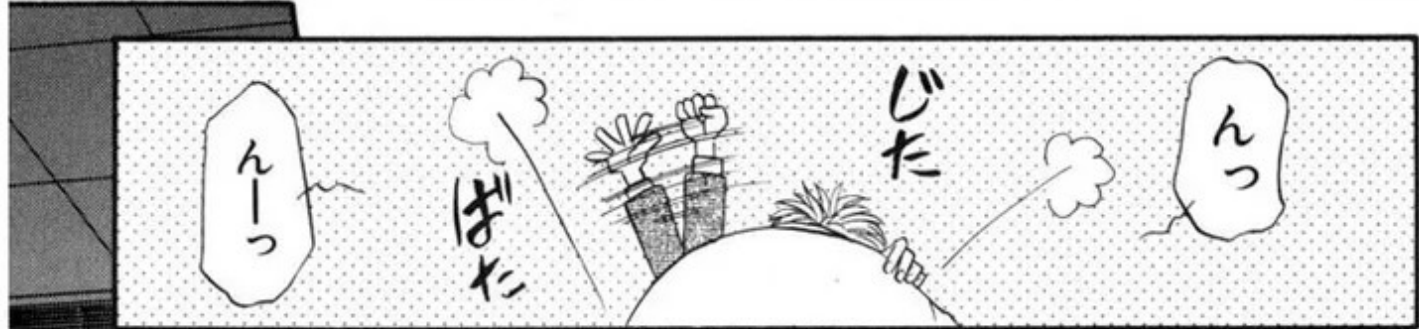


このままじゃ  
学費も  
払えなくて

あのバイト…  
割いいんすよ  
…俺けっこう  
才能あるみたいで

ほんちこ







いけないよ…  
先生と…  
生徒…なのに

はあ…  
はあ…  
はあ…  
だっ…  
だめ…え…



ウソだね  
点子先生…  
感じてるじゃん

や…あ…



先生…  
ウソつくなよ

あっ…  
だめっ…  
だめ…え…



たまんねえ  
…もう  
挿入るよ…

「聖職者」の  
一文字が  
まちがってんだろ？

こんなに  
ベトベトに  
濡らして……

はぁ  
びびあぁ

はぁ

や…あつ  
激しく…  
したらっ…

グッ  
グッ



だめっ…  
まだっ…



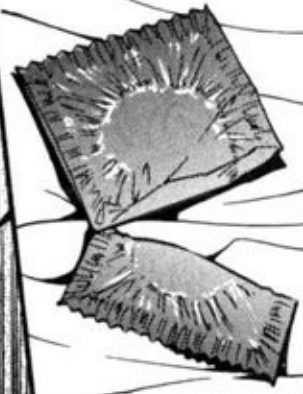
あつ…くっ

こんな時でも  
「教育」は  
するんだね

ふーん

ちゃんと…  
ゴム…  
つけなさい…

グッ  
グッ



先生……  
軽いなあ……

膣中も  
キツキツだ……  
イイ……よ……

やああん

安東の……

ダメエ……

大つきくて……  
こわれちゃう……

おろろろ  
おろろろ

おろろろ  
おろろろ

おろろろ  
おろろろ

おろろろ  
おろろろ

おろろろ  
おろろろ

おろろろ  
おろろろ

おろろろ  
おろろろ

おろろろ  
おろろろ

おろろろ  
おろろろ





やあああん...

俺もう...  
イク.....ッ

先生ッ...

はぁ

はぁッ

はぁッ



はぁッ



はぁッ



好きって…

あたしの…  
どこが  
好きなのよ!?



ごめん…  
でも…

俺……  
本当に先生の  
こと……好きだよ



メガネっ娘で  
マイクローの  
女教師だから……



だって  
点子先生…

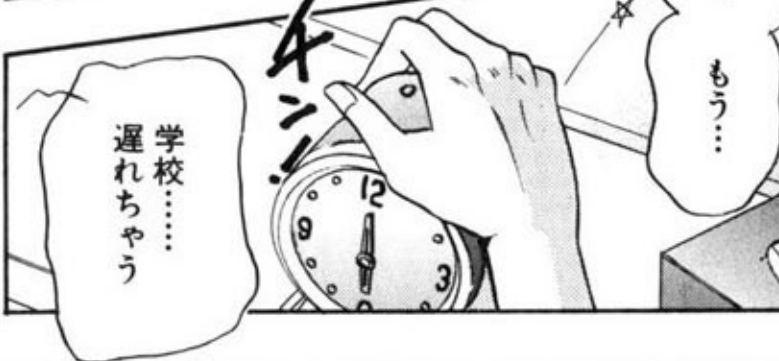
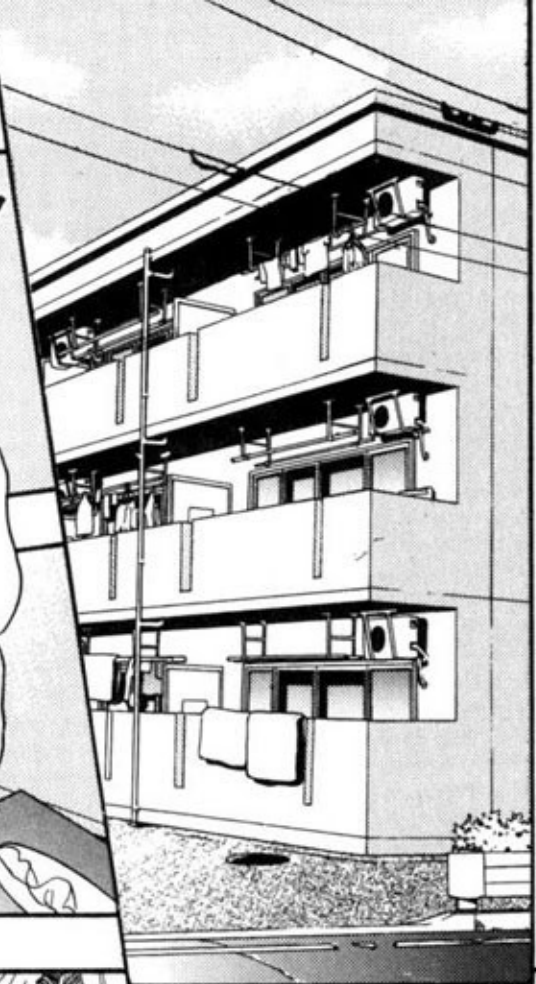
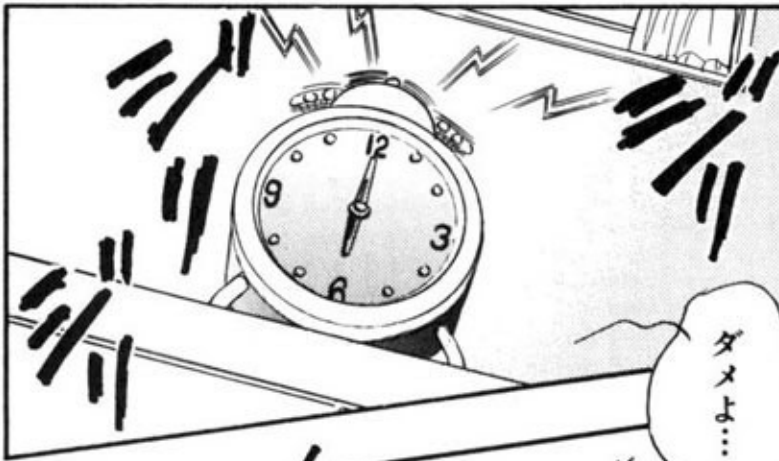


かい!!

マニア

# 点子先生の憂鬱。





学校...  
遅れちゃう



そんなの...  
ダメ...

それに...  
土曜の夜から...  
ずっと...

いーじゃん  
学校なんて  
休んじゃえば



あんななんか  
……嫌いッ

ギ  
ギ

ギ  
ギ

大ッ嫌い……

それでも  
いいよ……  
俺は……先生が

大好きだよっ

や……あ……

ダメ……エ  
こんなの……イヤ……

ギ  
ギ

ギ  
ギ

はっあっあっ

あ——っ

アッアッアッ  
アッアッアッ  
アッアッアッ

はあ

へんに……  
なっちゃう……

はあ



カール

キーン

日本大学



あのバカ  
安東は……

やるだけ  
やったら……  
爆睡しちゃうし……



なんか……

学校には……  
遅刻しないで  
済んだ……



ムカつく……

好きだとか  
ゆつといて……  
あたしは  
便所じゃない……!



どうしよう……

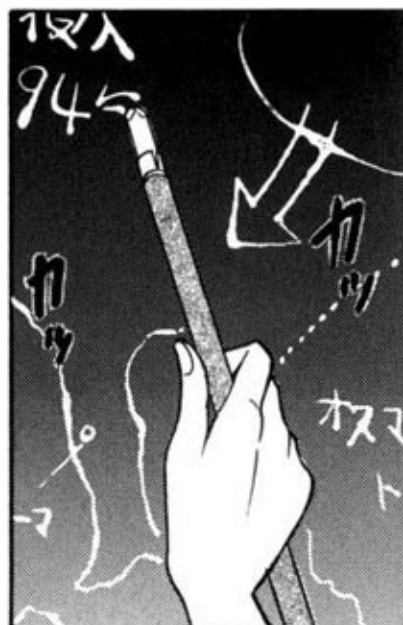
体が……  
敏感に  
なってる……



あっ……

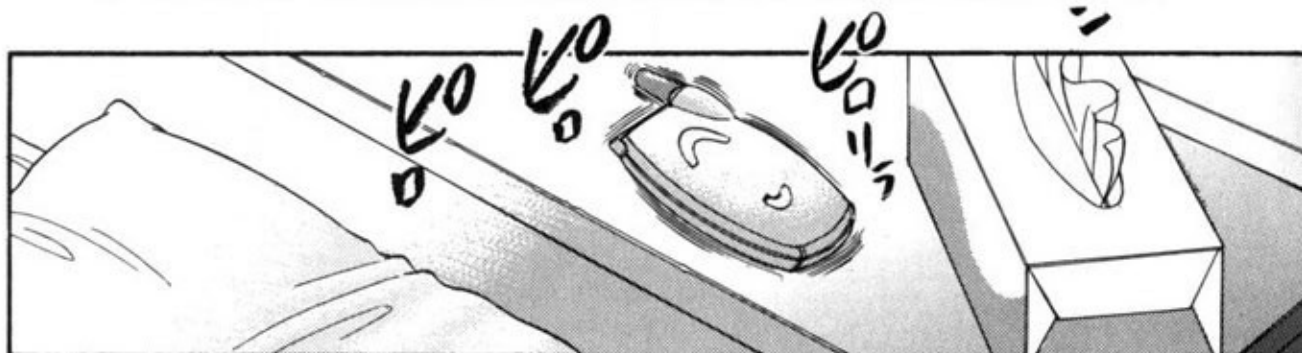
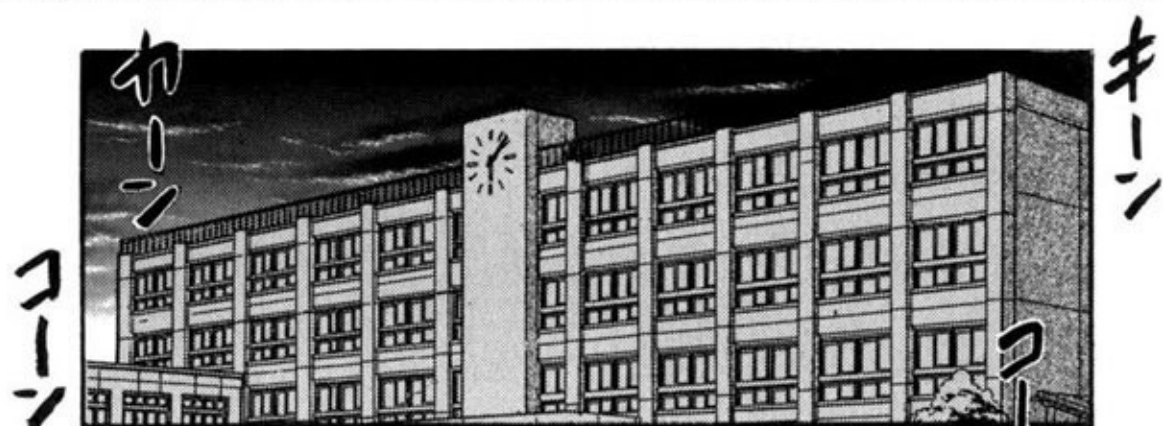


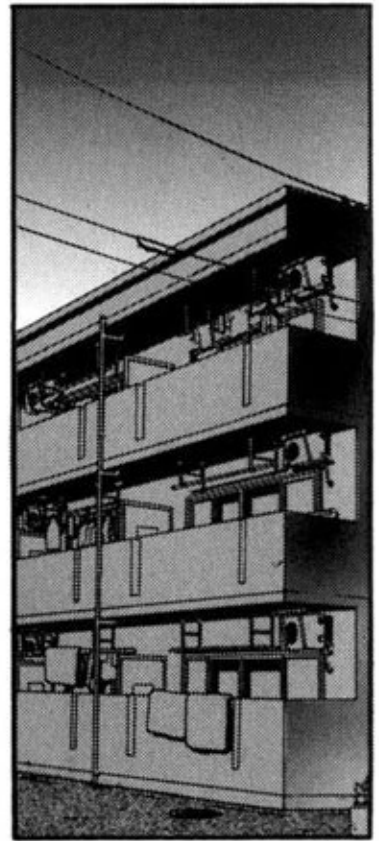
はあ











メガネが  
好きだとか  
そんなの…

照れくさくて  
言い訳してた  
だけだよ！  
謝るよ…！！

俺は…  
点子先生が

斉藤点子さんが  
好きで好きで  
大好きで——  
ずっと…見てたんだ！

あたしも  
覚悟…  
決めたよ

誰がなんと  
言おうと…  
安東を  
信じる…

ううん

そんな  
ことない…

言葉…  
だけじゃ  
信じて  
もらえない？

え？

キキ



あんたを……  
信じてるから……  
本当の……

安東くんの……  
知らない  
あたしを  
教えてあげる

じっとして



せ  
先生……



あっ……



そんな所……  
責められたら……  
あ……ひっ……

くああっ



先生……  
……こんなの  
初めてだ……

はあ

はあ







# 点子先生の災難。







生徒たちに  
ナメられないように  
必死ですけど……

ええまあ

たはは……



教頭先生……

どうですか？  
もうお仕事は  
慣れましたか？



そういえば……  
斎藤先生  
もうすぐ誕生日  
でしたね……？

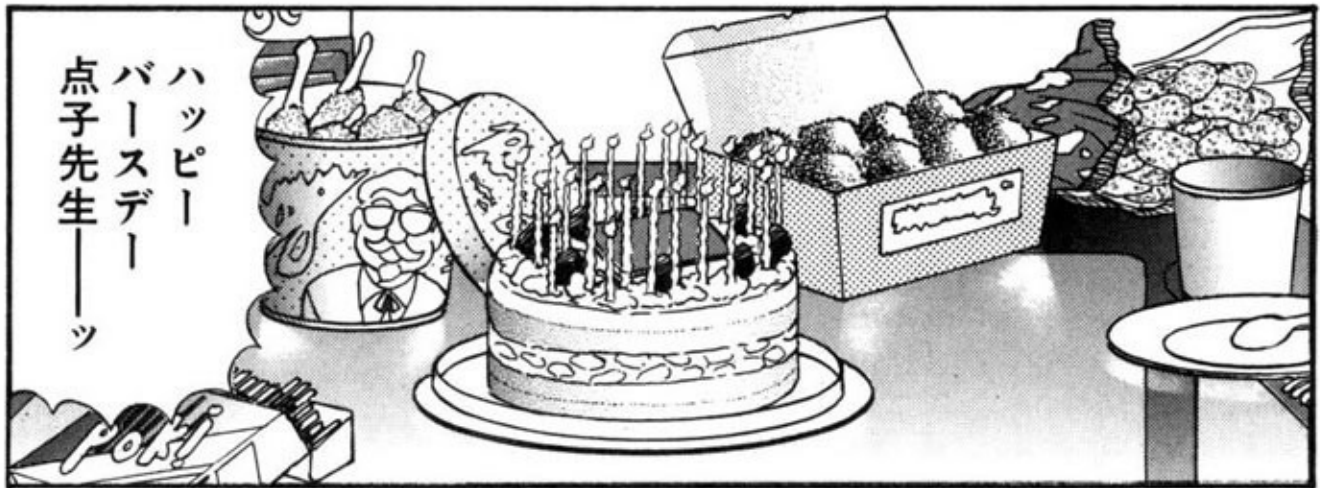


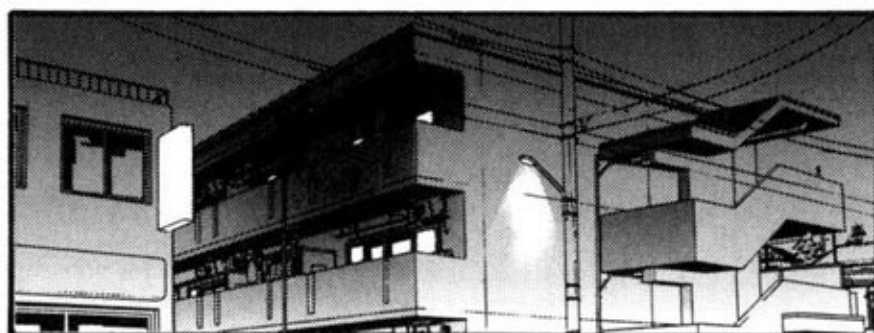
申し訳……  
ありません……  
先約が  
入ってまして  
お気持ちだけ  
ありがたく  
いただいで  
おきます



え？ はあ……  
憶えていて  
いただいで……

就職一周年も  
かねましてね……  
いかがですか？  
食事でも……









こんなの...  
やめて...ェ

や...あ  
じゅん

じゅん



あ...  
ぬる...



おいしいよ  
先生...

しょっぱくて...  
甘くて...

はっ...あ...

やああん



あ...



は...あつ

あつ

あつ

やつ...

ダ...メエ...



先生ッ…

安東…

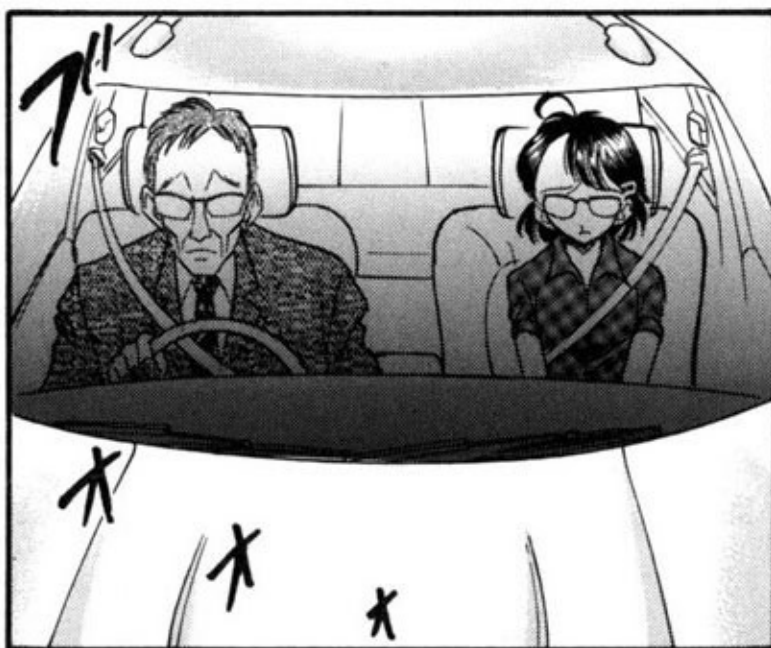
またっ…ッ  
イク…ッ



ちっ…

ガキが…ッ

県立







ク  
ク  
ク



斎藤先生っ  
僕はずっと  
貴女のことか...



大丈夫ですよ  
生徒との淫行は  
よくあることです

やっ…

僕の……  
別れた妻も  
そうでしたから

ああ……  
斎藤先生……  
君のような  
かわいい人が

いやああ

やだあっ

安東——ッ



最近のケータイはなア  
GPSってのが  
ついてんだぜツ

出て来い  
変態教師ッ





それでも  
世の中は  
理不尽なもので

あたしが  
教師を辞めようと  
思ったとき

強く止めたのは  
安東だった

教頭が  
免職になる代わりに  
あたしも転勤…

安東も  
退学ってことで  
納めてしまった

一年……  
待っててよ!!

俺……  
それまでに  
強くなって  
くるから…!



待たせて…  
ごめん!!



先生…!



これ……  
受け取ってよ



何?  
これ……♡

指輪にしては  
大きいね…

# Winter Guaranaは続きます。

本編「WINTER GUARANA」は、構想すること8年前に溯ります。当初は一般青年誌への持ち込み企画。「閉じた街で閉塞する若者の歪んだ性」の舞台として絞り込んだのは「北海道旭川市」と「広島県福山市」の2都市。「半端な地方の大都市」「工業地帯で斜陽」「大都市圏へのアクセスが微妙なうえに、街単独では「文化」が貧しい」といった条件で。

長いことあたためていた企画だけに、またしても未完に終わってしまう正直へこんでます。辛うじて単行本化まではこぎつけましたが...内容的なものより、出版や流通サイドの都合で振り回されたりするのは、今の自分の星回りなのかなあ...とかグチ、こみたり。

最近、松本剛先生の「甘い水」(別冊ヤマガ連載)を読むにつけ、同じようなテーマや素材でも、扱う作家にかかると、全く違ったアプローチになるのだと感じ、自分の拙さが目につく布団かぶらと泣き濡れこみたり。

とはいえ、めげればかりいけません。いつか再び、このテーマで描くことができよう希望しつつ、冷静に現実を見据えるべきかと考えたり。

思うに、自分が甘かったあの日...あの瞬間に痛いほど感じた「不全感」や「逆恨み」あるいは「無力であることの悔しさ」と相反する「歓喜」や「切なさ」「あたたかい感情と欲望」のアンビバレントこそが、取っつかないコトバでいうところの「青春」だったんじゃないかとか思ったりするワケです。



# ボクにとっての「北海道・旭川」

札幌出身のボクにとって、旭川という街は、客観的に見て「サイない街」だったりする。函館、小樽、釧路といった港町には、その町特有の空気があり、なにより「命」が渡していく「その先の世界」がある。内陸の工業都市で、かつての軍都、...人口だけなら道内第2の街なのに、旭川にはうらぶれた、ドンブまりのイメ-ジしか持てない。

マトモなライブハウスも、こじれたミニシアターもない。この町には「文化」の匂いがしない。「周知の街」だなんて手前味噌は聞きたくない。...旭川出身の方、ごめんなさい。せつかつだから、ほめるとこはほめよう。「旭川ラーメン」は、「札幌ラーメン」より確実に旨い。しかも、-20℃の極寒の地で食する、ラードの膜で湯気をおさえたしょう油ラーメンは、わざわざそれだけのためにこの街を訪れる価値がある逸品であることに疑いはない。

そんな「サイない街」であることが、この物語では肝要だった。札幌程度に情報とのギャップが少なければ、それほどの閉塞感はおぼえなかったろう。もし、これより小さな町だったら、単に思い切って脱出してしまえばいいってことになる。(内地と違って、土地の呪縛はそれほどないってのが、北海道だったり。)

思えば、この中途半端な閉じ方は、「日本」と4-ハコの典型なのかもしれない。飛び出さずには不満もないが、かといってそこで十かかができるとも思えない。十かかやろうと焦る奴らは、田舎を飛び出して東京(もしくは大阪?札幌?)へ、日本を飛び出して欧米へ...と考える。けど、その根底にある「不全感」は、結局そういった居場所へのコンプレックスにしかならないんじゃないか? ...根が深い問題とは思わん?



# ガラナ、この怪しいドリンク

皆さんは飲んだことありますか？ ちなみにホクは大好きです。

「コソア・ガラナ」(小原商店/函館)が最メジャーですが、個人的には「ガラナエール」(丸善町/苫小牧)が好きです。昨年、北海道取材旅行の中、平取町で幻の逸品である「ブラジルガラナ」を発掘し、大感激いたしました。

これまでに確認したパケモンは「キリンMetsガラナ」(キリン北海道)の他、「リボンガラナ」(サッポロビール)「ガラナスカッシュ」(ウヰシマ)「ブラマガラナ」(雪印・1985=3)「カクマンガラナ」(不明・1983=3)などです。広島の「アリオ・ヴェ・タス」という会社のブランドで「ガラナ」を購入したことがありますか?... 詳細未定。その他、サントリーとホッカが5~6年前、全国発売して瞬間風速で消えたりします。



「ガラナ」はもともと、1950年代に対「コココーラ」戦略商品として当時の国内清涼飲料水メーカーが共同開発したものと聞いています。「コカ」が作った「コーラ」に対抗してブラジルの「ガラナ入り」をウリにしたよ〜ですが、結果は惨敗。わずかに北海道地域のみが、コココーラ上陸が半年遅れたおかげでシェアを得ることができた...このが真相のよう。何だか「裏・プロジェクトX」なハナシです。

北海道って、戦後の「新生活運動」がビショ〜に生き残った(会費制の結婚式とか)、「内地」とは一線を画したフロンティアのなれの果て...な雰囲気がい感じます。

「YOSAKOI ヨーラン祭り」とか、あのヤンキーテイストが...ホクの美意識には耐え難いシロモノ/なんですか。あーやーわいのわいりん「祭り」がオットロシク盛り上がり、もうそのを見ると、無意識下に、くだらない「日本文化の伝統」を根底からブチ壊してくれよ〜な作風が「北海道気質」とも言えるんじゃないかと妄想したりもします。

そう考えると、南米アマゾンの強壮薬「ガラナ」の名を持つ炭酸飲料が、この地で普及しているのもアツギじゃないかも。

# 児童ポルノ禁止法「改定」案と 青少年有害社会環境対策 基本法案に

# 反対 します。

現在、国会において

「児童保護」の名を借りた創作物の規制に  
反対する請願署名」を集めています。  
署名用紙はネットダウンロードできます。

また、マンガ家・アニメーター・ゲームクリエイターらに  
よる社会的発言と情報を共有するグループ  
「連絡網AMI」も活動中です。

詳細は

<http://picnic.to/~ami/>

連絡網AMIウェブサイト...まで。



初出一覧

まんがSHOW GAKKO2001年7月号・9月号～2002年1月号・3月号。  
コミックまあるまん2002年7月号～9月号にて掲載されたもので、構成されております。

# **Winter Guarana**

